

在宅における新型コロナウイルス治療薬の 選択およびチェックリスト

【入院以外で使用可能な薬】

注射	ゼビュディ
	ベクルリー (3日連続投与のため当法人では推奨しない)
内服	ラゲブリオ
	パキロビッドパック

【対象患者】

- 軽症～中等症 I ※酸素投与を要さない
- 無症状でない
- 投与日が発症から何日目か
 - ・ゼビュディは発症7日以内 (5日以内が望ましい)
 - ・パキロビッドパック、ラゲブリオは発症5日以内
- 重症化リスク因子に1つでも該当する
 - 以下に例示されている重症化リスク因子
 - ・日本感染症学会「COVID-19に対する薬物治療の考え方」
 - ・「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き」
 - ・各薬剤の承認時の評価資料となっている臨床試験の組み入れ基準



※重症化リスクを有さない場合は解熱鎮痛薬や鎮咳薬などの対症療法で経過観察

【処方準備】

- 病院・有床診療所→全ての薬剤が院内・院外処方可
 - 当法人診療所 (無床診療所) →全ての薬剤が処方可能。ただしパキロビッドパックは院外処方のみ
- ※投与後急変時の連携先病院を決定する必要がある (協同病院の近隣法人診療所は協同に相談)

【処方の流れ】※PCR検査で陽性の結果が出た場合

- ①医師は、処方可能な薬剤を確認する。
- ②患者に治療薬について説明する。
- ③薬を処方する場合、同意書にサインをもらう。
(直接サインを受け取れない場合には電話で説明後に医療従事者が代筆する)
- ④処方

院内処方を推奨	患者家族が病院に薬を取りに来られる場合
	病院側がお届けする場合
院外処方を推奨	患者家族が病院に取りに来られない場合
	病院からお届け困難な場合
	院外処方可能な場合 (無床診療所がパキロビッドパックを処方する場合) ※依頼先がコロナ経口薬取り扱い薬局であることを確認した上で、処方箋と患者情報を依頼先保険薬局へ FAX する。

—今月号の目次—

- ①<今月のトピック 1>在宅における新型コロナウイルス治療薬の選択およびチェックリスト..... P1/2
- ②<今月のトピック 2>オミクロン変異株と効果のある薬剤について..... P2/3
- ③<今月のトピック 3>ファスティック錠の供給制限とその代替薬提案について..... P3
- ④<DI 情報>..... P3

【薬剤の選択】

☆ゼビュディ点滴静注（協同病院では入院患者へ第一選択で使用している）

- ・単回の注射で投与が完了するため、簡便である。
- ・投与時間は30分のため、その時間は拘束される。（30分より短い時間で投与されたデータなし）
- ・異物を除去するためにフィルターをつけて投与することが望ましいが、必須ではない（メーカーに確認済み）
- ・副作用は起こりにくく、使い易い。投与後に発熱が出現した場合はカロナールを使用する。
- ・オミクロン株への効果が確認されている。
- ・オミクロン変異株（BA2）には効果が乏しいとの報告もあるので、今後は使用しなくなる可能性あり。

☆ラゲブリオカプセル

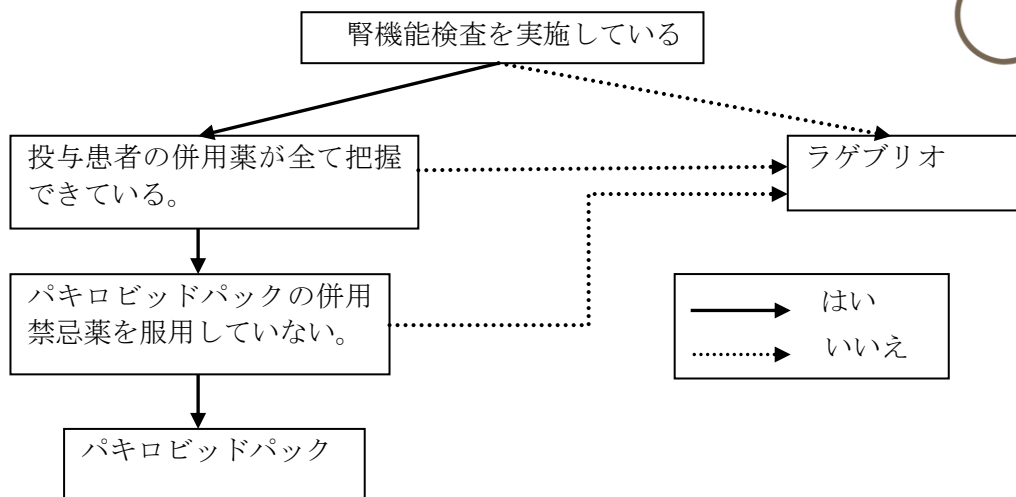
- ・相互作用も少なく使い易い
- ・効果は弱い
- ・カプセルが大きく飲みづらい場合がある
- ・妊婦には禁忌

☆パキロピッドパック

- ・現在最も有効な薬剤
- ・相互作用（禁忌薬・併用注意薬）が多い
- ・腎機能が悪い場合は減量の必要がある

協同病院ではラゲブリオ、パキロピッドともに処方歴はまだありません

＜ラゲブリオ・パキロピッドパックともに処方可能な場合の使い分け＞



オミクロン変異株と効果のある薬剤について

新型コロナウイルスの変異株・オミクロン株が確認されて以来、本変異株による流行が世界的に続いています。国内におけるオミクロン株はBA.1系統が主流となっていました。BA.2系統への置き換わりが進んでいます。埼玉県内では2022年4月10日時点で推定94%がBA.2系統に置きかわっているとの見解が出ています。ゼビュディはBA.1系統に対して活性がありますが、BA.2系統に対してはin vitroで大幅な活性低下が確認されています。

米国NIHでは米国でのオミクロンBA.2系統流行を勘案して非入院患者への医薬品使用順位を以下のように示しています。（2022年4月8日現在）

第1選択	パキロピッドパック
第2選択	ベクルリー
第3選択	（①②が何らかの理由で使用できない場合に限り）ラゲブリオ

●非入院患者へのデキサメタゾン（全身性ステロイド）の投与は推奨しない

※ラゲブリオは臨床試験での有効性が低かったため優先順位は他剤に比べて下に位置しています
米国ではBA.2系統が流行しているため、ゼビュディは推奨薬から外されました

ファスティック錠の供給制限とその代替薬提案について

21年3月に後発医薬品が供給停止になった影響で、その代替薬としてファスティック錠が供給量を増やしてきましたが、供給停止医薬品の再開時期が延長されたために供給量が維持できなくなり、2022年7月以降ファスティック錠90mgの供給量が現状の半分になります

類似のグリニド系薬の当院試用薬としてレパグリニド錠「サワイ」があります

当院糖尿病医師と相談した結果、レパグリニド錠への換算値として以下の量を提案します

成分名	先発商品名	用法	換算値			
			30mg	60mg	90mg	120mg
ナテグリニド	ファスティック	1回90mgを1日3回、最大1回120mg	30mg	60mg	90mg	120mg
レパグリニド	シュアポスト	1回0.25~0.5mgを1日3回 最大1回1mg	0.125mg	0.25mg	(0.25mg)	0.5mg

☆直接両薬剤を比較した試験が少なく、安全性を考慮してレパグリニド量は少なめで設定しました

☆比較量はあくまで目安であり、個人により反応性は異なります

参考) Efficacy and safety of repaglinide vs nateglinide for treatment of Japanese patients with type 2 diabetes mellitus. J Diabetes Investig. 2012 Jun 6;3(3):302-8. PMID:24843581

(ナテグリニド90mgとレパグリニド0.5mgではレパグリニドの方が血糖降下作用が大きいと判断しました)

DI 情報

【副作用報告】

DI委員会4月報告 : 秩父1件

No	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	トリプタノール錠 10 ファモチジン錠 20mg 「オーハラ」 メトホルミン塩酸塩錠 250mg ワーファリン錠 1mg、0.5mg プロチゾラム錠 0.25mg 「アメル」 カロナール細粒 20%	薬剤性肝障害	3	秩父	可能性あり

【副作用被害救済制度の申請報告】

2021年度は5件の副作用被害救済制度を申請しました。

薬剤名	診断名
・バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1g 「ファイザー」 ・タゾピペ配合静注用 4.5g 「明治」 ・クリンダマイシン注射液 600mg 「タイヨー」	腎機能障害
・ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg 「日医工」 ・ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg 「サワイ」	薬疹
・トラゼンタ錠 5mg	水疱性類天疱瘡
・プラリア皮下注 60mg シリンジ 1mL	肺炎
・ディパシオ IPa	薬疹
・リベルサス錠	虚血性腸炎

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】 2月分

薬剤名	経過・内容・
バイアスピリン、クロピドグレル	PCI を数十年前に実施した。膝、体に内出血が多発。DAPT 内服していたため、単剤へ減量を医師に提案。クロピドグレル内服単剤に減量
テオロング	テオロング、アムロジピン、モンテルカスト、フロセミド等服用中だが、錠剤服用が難しくなってきたとのことで、粉碎希望有り。自宅で服用する前に潰していたと話あった。テオロングは徐放性製剤のため、粉碎不可。ツロブテロールテープも使用しており、最近喘息発作は起こしていないため、テオロング中止の提案。テオロング中止。ツロブテロールのみでコントロール様子見ることとなった。
シムビコート	喘息にてシムビコート 1日2回 (1回2吸入) で再開の指示あり。高齢で、理解力もやや低下あり。手技が簡単で使用回数の少ないレルベア (200) を提案し、レルベア (200) 1日1回 (1吸入) へ変更となった。

【採用薬変更のお知らせ】 (県連薬事委員会 3月報告より)

新規採用・新規試用				採用削除		
理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
採用	第一三共	プラリア皮下注 60mg シリンジ	28136円			
採用変更	太陽ファルマ	テノーミン錠 25/50	11.7円 /25mg	原沢製薬	アルセノール錠 25/50	5.9円 /25mg
	東亜薬品	トラボプロスト点眼液 0.004% 「ニットー」	305.2円 /mL	ノバルティス	トラバタンズ点眼液 0.004%	615.5円/mL
	わかもと	カルテオロール塩酸塩 LA 点眼液 2%	209.1円/mL	大塚製薬	ミケラン LA 点眼液 2%	386.5円/mL
	参天アイケア	ブリモニジン酒石酸塩点眼液 0.1% 「SEC」	155.1円/mL	千寿製薬	アイファガン点眼液 0.1%	346.1円/mL
	日本点眼薬研究所	ラタチモ配合点眼液 「ニッテン」	367.1円/mL	ヴィアトリス	ザラカム配合点眼液	834.8円/mL
	持田製薬	HCG モチダ注射用 5千単位	1290円 /A	持田製薬	HCG モチダ筋注用 5千単位	1290円 /A
	サンド	バラシクロビル顆粒 50% 「SPKK」	124.1円/g	サンド	バラシクロビル顆粒 50% 「アスペン」	124.1円/g
	杏林	ペンタサ錠 250mg/500mg	61.7円 /500mg	ニプロ	メサラジン錠 250mg/500mg 「NP」	32.6円 /500mg
採用追加	富士フィルム	テルミサルタン錠 40mg 「FFP」	11.1円/錠			
新規試用	ノバルティス	エンレスト錠 50mg/100mg/200mg	114.4円 /100mg			
	第一三共	アズセミド錠 30mg/60mg 「DSEP」	10.1円 /30mg			
	富士薬品	ユリス錠 0.5mg/1mg/2mg	97.3円 /2mg			

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI室 (048-296-8308) までどうぞ
担当 井澤・中村・木村